

原発がこわい女たちの会
<http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/>

《 2015年05月 | [トップ](#) | 2015年07月 》

検索

2015年06月27日(土)

福井から原発を止める！中嶋哲演氏講演

アーカイブ

6月21日、田辺市民総合センターにて、「脱原発わかやま」の総会と市民公開講演会が開かれ、参加してきました。公開講演会では、「福井地裁の勝訴判決 & 仮処分決定とこれから」と題して、中嶋哲演さん(なかじまつえん 「福井から原発を止める裁判の会」代表・住職)が、2014年5月の大飯原発3、4号機運転差し止め判決の意義を中心に、提訴への歩みと感動的な勝訴判決、高浜原発3、4号機の差し止め仮処分(2015年4月)、などについて話されました。

集まった人たちは、和歌山県下一円はもとより大阪など遠方から駆け付けた方も多かったようで、熱心に聞き入っていました。

中嶋さんは、これまでも何度か講演などに訪れており敬愛する南方熊楠の話などを織り交ぜながら、和歌山との浅からぬ縁を最初に語られました。なかでも、ピンク色の表紙の冊子を取り出して、1989年に原発がこわい女たちの会に来た時にまとめてもらった講演録だと示されたのには、びっくり！女たちの会草創期ともいえる頃のことです。面はゆい思いでした。

その当時からすでに、中嶋さんは原発反対運動の先頭に立って闘い(原爆被爆者援護運動が先行)、走り続けてこられているのです。托鉢で、言論で、裁判で。
 (本ブログ5月29日の予告記事参照してください)



ここでは、とくに印象深かった点を中嶋さんの言葉を借りて挙げておきます。

・「原発銀座」の福井県・若狭、しかし一基たりとも地元への批判、反対運動なしに建設されたものはない。

とくに中嶋さんの住む小浜市は、40余年にわたり原発建設を拒否し続けてきたが、大飯原発から10キロメートル以内の住民の7割を占めながら、原発立地の自治体・住民としては扱われなかったという理不尽さ。(小浜市議会は、全国に先駆けて脱原発の意見書を政府国会に提出している)同じ福井県内にあっても、「原発は若狭(嶺南)の問題」であるとして越前(嶺北)の住民たちは冷淡、無関心でありがちだった。が、フクシマ以後は大きく変わり、「南北問題」を越えて献身的に運動を支え担うように広がってきたのは心強いがぎり。

・「必要性和安全性」—原発を国策として推進するための二大スローガン。
 経済活動のため電気は必要、原発は絶対安全、と言われ続けた。フクシマ以後は、「安全神話」は殆ど崩壊しているけど、「必要神話」はまだあ

- [2016年11月\(2\)](#)
- [2016年10月\(1\)](#)
- [2016年09月\(1\)](#)
- [2016年08月\(2\)](#)
- [2016年07月\(4\)](#)
- [2016年06月\(2\)](#)
- [2016年05月\(1\)](#)
- [2016年04月\(3\)](#)
- [2016年03月\(2\)](#)
- [2016年02月\(3\)](#)
- [2016年01月\(2\)](#)
- [2015年12月\(4\)](#)
- [2015年11月\(2\)](#)
- [2015年10月\(1\)](#)
- [2015年09月\(3\)](#)
- [2015年08月\(3\)](#)
- [2015年07月\(2\)](#)
- [2015年06月\(2\)](#)
- [2015年05月\(2\)](#)
- [2015年04月\(2\)](#)
- [2015年03月\(2\)](#)
- [2015年02月\(2\)](#)
- [2015年01月\(5\)](#)
- [2014年12月\(3\)](#)
- [2014年11月\(2\)](#)
- [2014年10月\(2\)](#)
- [2014年09月\(2\)](#)
- [2014年08月\(1\)](#)
- [2014年07月\(2\)](#)
- [2014年06月\(1\)](#)
- [2014年05月\(3\)](#)
- [2014年04月\(4\)](#)
- [2014年03月\(3\)](#)
- [2014年02月\(1\)](#)
- [2014年01月\(3\)](#)
- [2013年12月\(4\)](#)
- [2013年11月\(1\)](#)
- [2013年10月\(3\)](#)
- [2013年09月\(5\)](#)
- [2013年08月\(1\)](#)
- [2013年07月\(3\)](#)
- [2013年06月\(5\)](#)
- [2013年05月\(3\)](#)
- [2013年04月\(2\)](#)
- [2013年03月\(6\)](#)
- [2013年02月\(2\)](#)
- [2013年01月\(3\)](#)
- [2012年12月\(2\)](#)
- [2012年11月\(1\)](#)
- [2012年10月\(2\)](#)

まりボロがでていない(と筆者は思う)。あれだけの被害を見聞しても「電気は必要なのだから…経済活動のため、生活のため当分原発は必要」という人は少なくない。
果たして本当にそうなのか、フクシマ以前からの私たちの生活はどうなっていたか、を省みることが大切だ。戦後70年の総括のうにに原発問題を考えたい。

・**福井地裁判決が、250^キ圏内の住民の訴えを認めたことは、重要なポイント。**

これは、2011年3月、近藤駿介・原子力委員長(当時)が作成した「最悪のシナリオ」—福島第1原発事故が拡大すれば170^キは強制移住、250^キでも避難の可能性—をふまえたもので、さらに事故現場の渦中にあった故・吉田昌郎所長の「頭をよぎったのは東日本壊滅のイメージ」(吉田調書)も加わる。原発から250^キ圏とは「原子カムラ」の中から出てきた証言なのだ。もし大飯原発が事故をおこせば、関西は紀伊半島先端の串本まですっぽり、西は広島県東部、東は長野県まで含まれる。

・**地裁判決を特徴づける「人格権」の最優先は画期的。**

人格権とは、個人の生命、身体、精神、生活に関する各人の人格に本質的なもので、基本的な人権というに近い。人格権に包含される「自由」は担保されなければならないが、巨額の交付金に縛られ、もの言う自由、行動する自由を奪われた自治体・住民の人格権も検証しなければなるまい。原発の新規進出をくい止めたところは全国で30ヶ所位あるが、既に稼働しているところで新增設をくい止めた例は1つもない。お金を受け取るということが自由を拘束してしまう。

・**明快な「豊かな国土と国民が安心して生活できることこそが国富」。**

原発震災からの復興は、ゼロからの出発ではない。自然も人も、生き物も、深刻な放射能被害を何とかせねばならないマイナスからの出発になる。原発の稼働は電気代の低減につながるという被告の主張は、多数の人の生存に関わる権利と並べて論じるようなことではない。貿易赤字が出るとしても、これを国富の流出や喪失というべきではない。豊かな国土とそこに根を下ろした国民の生活を取り戻すことができなくなることこそが国富の喪失、と判決は一刀両断！
このくだりが読み上げられた時、傍聴席からおおきな拍手がおきた(ルールに反するけど)とのこと。

・**原発がもたらす客観的事実を大前提に、原判決をふまえて名古屋高裁金沢支部での公判・審理を。**

大飯原発3・4号機がもし再稼働すれば、1年間で広島型原発2000発分の「死の灰」を新たに生成するという科学的な事実。それ故「五重の壁」も必要なのだという工学的な事実。大電力消費圏でなく過疎地域に原発は立地・集中されてきたという歴史的・社会的な事実。麻薬的な巨額の交付金等が地元で供与されてきたという経済的な事実。そしてフクシマにみる過酷な現実のダメージという精神的な事実。

これらの基本的客観的な事実をふまえておきたい。
とくに科学技術面では、自分の頭で考えないで「専門家にお任せ」というのが3.11以前は多かったが(専門家のいうことにあまり口出すな、とおっしゃるどころかの知事もいましたね)、地裁判決を出した樋口英明裁判長は、真摯に取り組んで司法の独立を取り戻していただけた。

・**最後に「自利自他円満、小欲知足」という仏教の教えを挙げられた。**

自分にとって好いことを他の人にもすすめる(いやなことは他人にもしない)、欲張らず有るものを活かす。
「核のない世界」を実現するのはとてつもなく遠い道程だけど、そんな心で生きていきたい、というところでしょうか。

(sora)

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora(12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora(09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2015年06月 >						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

2015-06-27 | 記事へ | コメント(0)

2015年06月17日(水)

原発がこわい女たちの会ニュース94号発行

6月15日、ニュース94号を発行しました。
内容は以下の通りです。「原発がこわい女たちの会結成28年のつどい・佐藤栄佐久氏講演会」については、本ブログ(9月16日)に掲載済みなので省略します。

【 CONTENTS 】

* 未来のない再稼働を許さない！

- * 高浜発電所3号機及び4号機の原子炉は 運転してはならない
- * 原発がこわい女たちの会結成28年のつどい
「原発問題と地方の論理」佐藤栄佐久氏講演会
- * お知らせ・お願いなど
 - ・福島県甲状腺がん及び疑い 福島県全体で126人
 - ・長期エネルギー需給見通し策定パブリックコメント
 - ・2015年さよなら原発全国集会
 - ・戦争させない・9条壊すな！総がかり行動
 - ・脱原発わかやまの総会と講演会
 - ・上映会:「チェルノブイリ・28年目の子どもたち」
- * 後記

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
記事の投稿
管理
RSS
ログアウト

■ 未来のない再稼働を許さない！

2013年の9月15日から日本の原発はすべて止まっています
未来のない再稼働を許さない！
そのための活動を個人個人が考えて行動しましょう。

川内原発(鹿児島)・伊方原発(愛媛県)大飯原発(福井県)が原子力規制委員の「新規制基準」の適合審査に通り、再稼働に向けた動きを強めています。

「何もしないのは推進しているのと同じ」になると合言葉のようにして私たちは活動してきました。それは本当に小さな力かもしれませんが。福島の事故が起きてしまいました。何も収束していません。甲状腺ガンが増え続けています。私たちは黙ってはいられません。

会の結成当時のニュースが出てきました(下図)。
世話人代表の一人、泉谷富子さんは2001年5月5日に亡くなりました。もう14年も前になりますが、泉谷さんは日本の右傾化に危機感を持ち1997年3月17日「第9条の会わかやま」を和歌山で発会させました。

亡くなる少し前に朝日新聞の朝刊に「戦後の平和—安保の力か、九条の力か—」というテーマで、「憲法を考える特集」に泉谷富子さんと桜井よし子さんの対立する意見が大きく取り上げられました。

その記事には私の言い分が正確ではないと、気にしておられました。81歳の泉谷さんとの最後の話でした。



■ 高浜発電所3号機及び4号機の原子炉は 運転してはならない

～4月14日、福井地裁で出された高浜原発3・4号運転差し止仮処分決定～

4月29日、大阪市にて「高浜原発3、4号仮処分裁判勝利 報告集会」が開催されました。集会のゲスト・弁護団の海渡雄一弁護士の話から～

昨年5月21日の大飯勝訴判決と今回の4月14日の仮処分判決こそが、人格権を根底に据え原発事故は「万が一にもあってはならない」と云う歴史的な判決であり、「新規制基準は緩やかにすぎ、これに適合しても本件原発の安全性は確保されていない。新規制基準は合理性を欠くものである。」として、規制委員会の審査を根底から批判し、「運転してはならない」との効力が現実発揮されたものであること。

4月22日の川内原発の仮処分決定については、事故のリスクを認めながらも行政に追随したものだとして厳しく批判された。

しかし川内の決定は「今後、原子力施設についてさらに厳しく安全性を求めるといふ社会的合意が形成されたと認められる場合」には、そのような判断をする必要性を認めているということです。

上記報告会に松浦雅代も参加。仁坂知事が高浜仮処分決定を「原発だけなぜゼロリスクなのか」等と4月20日の知事定例記者会見で批判をしたのを受けて<4月22日>仁坂和歌山県知事に抗議に行きました。

大阪の勝利報告集会では、和歌山の原発を止めた人たちが命をかけて何を守ったのか、福島事故を経験しても分からない和歌山県知事の批判をして来ました。(知事宛抗議文同封しています)

海渡弁護士から知+情+意の話

脱原発の実現のために①原子カムラの論理に打ち克つ知識を体得し、②福島の被害を肌感覚で知り、繰り返してはならないと心で感じる事、③この闘いは勝てると云う意識・確信を共有すること。この「知情意」の結合で脱原発は必ず実現できると話されました。

■ お知らせ・お願い

◎ 福島県甲状腺がん及び疑い 福島県全体で126人 第19回「県民健康調査検討委員会」が5月18日に開かれました。103人が手術をしました。それでもまだ福島事故での影響は考えられないのだそうです。

◎ 政府自民党は、選挙の時「原発依存度については可能な限り低減させる」といながら福島事故を忘れたように再稼働の動きを急いでいます。

2030年に向けての長期エネルギー需給見通し(案)が出されました。

電力の電源構成は原子力は20～22%だそうです。<これによって、東日本大震災前に約3割を占めていた原発依存度は大きく低減する>と書かれています。

国民の意見募集しています。原発事故を起こしてはならない。原発はゼロにするように是非ともあなたの意見を書いて送ってください。再生可能なエネルギーをもっと多くする。等。郵送とFAX兼用の用紙を同封しています。

宛先・〒100-8931東京都千代田区霞が関1-3-1
資源エネルギー庁長官官房総合政策課・パブリックコメント受付担当宛
FAXは03-3501-2305宛 7月1日必着

少し先です。

◎ 2015年さよなら原発全国集会(京都と東京の2か所で開催されます。)

★9/6京都集会は 京都・梅小路公園

★9/23 東京集会 東京・代々木公園

緊急です。

◎ <主催>戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
とめよう戦争法、集まろう国会へ
6月24日(水)18:30~20:00国会議事堂周辺

◎ 脱原発わかやまの総会と講演会

○6月21日(日)総会 12時30分~

○講演会 13時30分~15時30分

「福井地裁の勝訴判決&仮処分決定とこれから」

講師・中嶋哲演氏(福井から原発を止める裁判の会代表・住職)

○会場・田辺市民総合センター・2階青少年ホール(田辺市高雄1-23-1)

○参加費・無料 誰でも参加できます。

○主催「脱原発わかやま」

◎ 上映会

：「チェルノブイリ・28年目の子どもたち」低線量長期被曝の現場から
(Ourplanet-TV製作DVD 2014年 /43分)

映画解説と福島の実況報告 山崎知行氏(医師)

○6月28日(日)14時30分~

○会場・和歌山ビック愛9階・会議室A(和歌山市手平2-1-2)

○参加費・無料 誰でも参加できます。

○主催「子どもたちの未来と被ばくを考える会」

◎ 会費納入お願い

◆2014年度の会計報告を同封します。佐藤栄佐久氏講演会の会計は別にして

しています。
◆2015年度の会費を納入して下さい。(振り込み用紙同封しています)6月

中に。

◆年会費一口1200円 いく口でも可

<記>

集団的自衛権が閣議決定されてから実感したこと。権力を持つと人は変わる。こわいものが無くなるのだ。多数決で何でもできてしまう。憲法も骨抜きに出来てしまう。このような人が今国会で多数。戦争法案を議論しているのをテレビで長時間見ていたが、自民党はまともに答えない。こちらが恥ずかしくなるくらい。彼らは的外れでも何でもいい。あとは多数決なんだから。民主主義なんか考えたことない。と言ってもよい。侵略戦争も戦後も塗り替えようとしている。自分たちで自分たちの都合のよい日本をつくる為に国民をだまし、嘘の説明をしていてもみんなやればこわくないのだ。日本を取り巻く世界状況が危機的だと言うが、安倍自民党はわれわれにとって一番危険だ。(松浦雅代)

2015-06-17 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#) |

RSS 2.0